

消費者モニター 活動報告

第50回 消費者モニター会議

2011年6月24日、「食のサポーター」による消費者モニター会議を開催しました。今回は、食品に関する包装形態について討議していただきました。皆さん日頃から包装形態に対して色々な不満や疑問をお持ちのようで、活発に意見交換をされました。それぞれの疑問について当社より回答を行い、納得していただきました。

また、最後にロースハムの食べ比べを行いました。皆さん食べ比べるのは初めてのようで、少し緊張気味でしたが真剣に取り組んでいただきました。

会議風景

「使いきれずサイズの商品がほしい」
「消費期限と賞味期限の違いは？」
「賞味期限を過ぎた商品は？」
色々な疑問がありました。



「中身に比べ過剰包装では？」



「コスト高になれば購入できない！」
「メーカーの努力が・・・」



ロースハムの食べ比べ
「緊張する！」



包装形態の不满・不安

- ・ 個食用の少量パックが必要と思っていたが、コストアップにつながり現実性がないと感じた。
- ・ 使いきりサイズは、コスト面から厳しいと感じたが高齢者が増えるなか、今後の動向を見守りたい。また、使い切れなかった場合でもジッパー式の包装であれば保存しやすい。
- ・ 「道の駅」「市場」等で販売している物産品や土産物は、あげ底や過剰包装が多く安心して購入できない。
- ・ 国の法律で包装の空間率が決まっていないことに驚いたが、東京都の空間率20%以内という条例を全国に広げてほしい。
- ・ 過剰包装と思っていたものが、諸品の劣化や破損防止のために工夫されているものもあることがわかった。
- ・ ウィナー等で袋が異常に膨らんでいる商品があるが、スモークの変色防止、細菌の増殖を防ぐ、陳列で商品を重ねたときに用途の商品を保護する等の理由がわかり、これからは安心して購入できる。
- ・ 消費期限と賞味期限の違いがはっきりと理解できた。
- ・ 賞味期限の安全係数(0.8)についてはじめて知った。
- ・ 企業が商品、消費者のことをつめに考えて開発していることを知り、消費者も秩序ある行動が必要だと認識した。

ロースハムの食べ比べについて

- ・ 贈答用の高級品、JAS規格、JAS規格外の食べ比べを行った。
- ・ こんなに考えながらロースハムを食べることは初めてだったので緊張した。
- ・ スライスパックのハムは普段食べなれているので比較的判断しやすかった。
- ・ 贈答用のハムは、より肉に近い食感であった。
- ・ 日頃食べなれているものが美味しいと感じた。
- ・ 贈答用、JAS規格、JAS規格外と美味しさと価格の差がかなりあると感じた。
- ・ 百聞は一食にしかずで、家族に本物の味を提供したい。
- ・ スライスすると見た感じはほとんど同じだが、高価なハムほど繊維が口に残るような舌触りを実感できたし噛めば噛むほど熟成された旨味を感じた。
- ・ 嗜好は年齢、性別で変わるところもあるが、価格と美味しさは比例しているように感じた。
- ・ 食べ比べ前は、ロースハムはロースハムなので順位をつけられるほど違うのかと思っていたが、じっくり食べるとそれぞれに差があって驚いた。
- ・ 普段は何気なく購入しているが、豚肉のロース肉よりロースハムのほうが安い商品があることを改めて認識し、不思議に感じた。